

イセンドは、「いせ」と「送る」の英語「send」を組み合わせた造語です。

最新の文化財情報トピックス



伊勢音頭が市選択無形民俗文化財に選択され、旧山田郵便局電話分室が国登録有形文化財に答申されました。



5月30日(木)に宇治山田駅前で「澤村榮治結びの像」が披露されました。詳細は裏面をご覧ください。



前期企画展「伊勢の台所☆河崎ッチン ～商人・貨幣・問屋～」が伊勢河崎商人館で、8月3日(土)～12日(月)まで開催します。

宮川堤桜たより

今年もきれいな花を咲かせた宮川堤の桜をご紹介します。宮川堤には、上流の松井孫右衛門人柱堤(浅間堤)から、下流の棒堤(宮川橋東詰付近)までの間に約700本の桜があります。

桜のほとんどは、ソメイヨシノですが、ヤマザクラやカンザクラ、ベニシダレザクラなどの品種もあります。また近年の堤防工事に関連する植樹で、伊勢市横輪町で有名なヨコワザクラも植えられています。来年はさまざまな品種の桜の違いを感じながら花見されてみてはいかがでしょうか。

満開!!



宮川堤の桜開花状況

大きな花が特徴です!



赤い葉が特徴です!

ヤマザクラの花



ヨコワザクラの花

コラム

植物の病気「テング巣病」

宮川堤の桜に見られる“病気”の1つに「テング巣病」というものがあります。この病気にかかった桜の枝は、成長異常を起こし、枝が多芽状に発生する奇形症状を引き起こします。枝の巻き込んだ様子から「天狗巣」病と言われます。症状が深刻になると、枝の枯死や樹木全体の樹勢にも影響を及ぼします。またこの症状が出た枝は、花を付けることはありません。



テング巣病の桜の若枝

ふるさと納税を活用したクラウドファンディング「宮川堤の桜を守り育てていきたい!」を昨年度実施し、皆様から多くのご支援・ご協力いただきまして、ありがとうございました。

宮川堤桜樹現況調査の報告



宮川堤桜樹現況調査

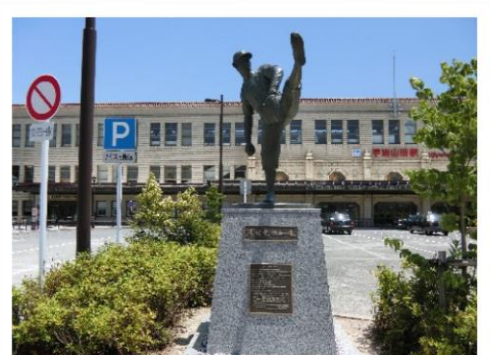
左の写真は、平成31年3月に中村樹木医と宮川堤の桜樹の現況調査を行った時のものです。桜は、老木が目立つようになり、樹勢が弱っている桜も多くありました。また、テング巢病が深刻なエリアや、ヤドリギが多く付いているエリアなど、場所によって、症状が違っていました。これからの維持管理を進めていく上でも、エリア別の処置を施していく必要があります。

写真の桜樹は、主幹の樹勢が弱り、キノコが生えてきていました。こうした古く弱った主幹を剪定し、横から生えてきている新しい芽を次の主幹になるように育てていく必要があります。

「澤村榮治結びの像」が出来ました！

「澤村榮治結びの像」が近鉄宇治山田駅前に完成し、5月30日に披露されました。銅像は投球フォームを再現したもので、沢村投手とほぼ等身大の170cmあります。この銅像は澤村榮治顕彰会が寄附を募って建てたものです。

沢村投手の全身像は京都学園高校（京都市）と草薙球場（静岡市）にあります。伊勢市内には初めてつくられました。また、沢村投手の胸像がダイムスタジアム伊勢（倉田山公園野球場）にあります。伊勢市に新しい名所が出来ました。お近くにお越しの際は是非ご覧ください。



沢村栄治の概要

○1917年2月1日に宇治山田市（現、伊勢市）に生まれる。プロ野球の在籍は5年間で、ノーヒットノーランを3回達成し、プロ野球史上最高の投手と言われる。戦中3度目の召集の1944年12月2日に東シナ海で戦死。享年27歳。1947年には年間で最も活躍した本格派投手に与えられる「沢村賞」が制定された。

企画展情報



前期企画展

「伊勢の台所☆河崎ッチン ～商人・貨幣・問屋～」

江戸時代、勢田川水運による鳥居前町山田への物資供給によって栄えた河崎の歴史を「商人」・「貨幣」・「問屋」の3つのキーワードごとに展示します。さまざまな道具を駆使して、商いを営んだ江戸時代の商人たち。商いによって次第に蓄えられる富としての貨幣。近代化によりさまざまな物が行き交う問屋街河崎など、考古資料・古地図・古銭・版木・商売道具を通してご紹介します。

【開催情報】

主催：伊勢市教育委員会
 協力：伊勢河崎商人館
 会場：伊勢河崎商人館角吾座
 開催期間：令和元年8月3日（土）～12日（月・振休）
 観覧時間：9時30分～17時00分
 観覧料：伊勢河崎商人館の入場料
 （大人300円 大学生・高校生200円 中・小学生100円 小学生未満無料）